山形県の古木・名木　No.122

臥龍山西常徳寺の蟠形杉

（がりゅうさんにしじょうとくじのばんけいすぎ）　　天童市大字蔵増甲

臥龍山西常徳寺のスギは、夕方の天候の変わり目などに、よく木の上部が煙に覆われたように霞んで見えることがあり、昔の人は狐や狸の仕業と恐れたことから、通称「化杉（ばけすぎ）」と呼ばれています。

高さ5～7mで幾本にも枝分かれし、数本が主幹と並列し伸びています。根周り9．23m、幹周り6．61m、樹高約20m、樹齢700年前後といわれ、平成7年4月27日に市の天然記念物に指定されました。　〔山形県森林協会〕

〔森林やまがた No.155 号（2015 年 1 月）掲載〕